

東京地方連合定期総会事前質問に対する回答

【質問1】 青年・少年少女委員会の青少年の集い「君たちはどう礼拝するか」 p.23

「各教会を飛び越えた会とならないよう、参加フォームへのリンクは教会宛てのチラシにのみ載せた」とあります。これはどういうご配慮でしょうか（教会宛てのチラシ以外にどのような告知方法を想定し、それには開催上どのような問題があるとお考えでこの配慮をされたのでしょうか）。

【回答1】

今回の告知では教会にチラシを送る他に、企画メンバーの知人宛に SNS などを用いてチラシを送ったが、基本的にはそちらには参加フォームへのリンクは載せず、参加希望の場合は教会へ連絡するように、と載せました。これは各教会が、教会員が集いに参加することを知らない、というようなことが起きないようにするためでした。

また、今回の集いは連合主催の催しで、青少年有志が独自に企画して集まる会ではなく、各教会による協力伝道の一つとして覚えていただき、連合に所属する各教会から青少年の背中を押し、送り出してほしいという思いがありました。

【質問2】 会計報告 決算概要の項目3番目 p.27

「山中湖 YMCA キャンプは今後の費用負担の好例」とありますが、費用負担のどのようなパターンを示唆しておられますか。たとえば、「参加者が喜んで費用を負担し、また開催を臨む諸教会の献金もある」というパターンということでしょうか。

【回答2】

参加者と TBA だけによる費用負担ではなく、ユースキャンプに対するお祈りと献金の呼びかけによって諸教会・個人からも多くの献金がささげられた好例と考えます。

【質問3】 会計報告 予算案の項目1番目 p.27

「2024 年度収入をもって、2024 年度支出を賄うことを前提に」というのは、資金の取り崩しや繰越金を支出に充てないで運営できるような予算ということでしょうか。

【回答3】

地方連合財政の継続性から年度収入から年度支出を賄うという方針で考えています。毎年の継続的支出についてはそうですが、数年に一度とか、総会で提案され、賛同を得た行事については繰越金を使うことも想定します。

【質問4】 2023年度支出内訳について p.30

1. 支出内訳の中の注2「献金・献品」とあるのは、「どこ」から「どこ」にこれらが献金・献品されたということですか。
2. ドメイン、経理メール、ZOOMの献品一名というのは、一名の方が自費でこれらを契約の上、1.の献品先の働きのために使用して下さっているということですか。

【回答4】

1. 「献金、献品」では、個人あるいは教会から地方連合への献金、個人あるいは教会から、「キャンプ」のような指定献金、「プラットフォーム」は個人あるいは教会から地方連合を介して加入教会への献金になっています。
2. 2017年から財政危機克服のため、連合会計からネット関連費用の支出をやめ、個人契約による個人献金に頼っていますが、今後は法人契約への切替により、「連合・事務通信費に」計上する方向で検討したいと考えています。

【質問5】 2016年付けの「財務についての答申」について p.51

現在もこの答申が掲載されているのは、これを受けて財務活動がなされているということですか。

【回答5】

連合が財政面で危機的な状況下にあった時期、こうした議論がなされたという記録として掲載しているものです。この答申を参考にするものの、それに縛られて活動されていることはありません。

【質問6】 役員会活動報告関連：東京バプテスト神学校との連携 について p.8

5行目「受講者を如何に送り出していくか（献身者の祈り）」とはどういう意味でしょうか。（たとえば、「神学校の授業を受講した方たちをどこかに送り出す」、「諸教会から神学校に受講者を送り出す」など）

【回答6】

諸教会に神学校のことを更にアピールして受講者を増やし、そして多くの献身者が与えられますように祈っているということを意味しています。

【質問7】 TBA 協力伝道センター&伝道委員会 関連 p.14,15,29

1. 14, 15 ページに、伝道委員会で「TBA 協力伝道センターの働きを整理し、発展的に継承する」とありますが、TBA 協力伝道活動センターの働きを2023年度をもって終了し、伝道委員会に移行させる理由は何ですか（2023年度の協力伝道活動センターの報告には、働きを終え

ることへの説明が書かれていません)

2. 2024年度の伝道委員会の活動計画について。前年度から何を整理し、何を発展させようとしておられますか。
3. 29ページの「決算・予算書」で、2024年度に伝道委員会が引き継ぐことになる活動の予算は、予算案のどこに反映されていますか。(たとえば2023年度では、「TBA協力伝道センターPJ」に約32万円、「協力伝道PJ」に約15万円が用いられている)

【回答7】

1. 毎年、連合総会においてプロジェクト方式に関する質問、反対意見が寄せられていたこと、また、社会委員会、青少年委員会が復活したことに鑑み、協力伝道をプロジェクト方式で推進する方向から委員会で推進する方向へと舵を切りました。(従来方式に戻しました。)これにより、協力伝道だけがプロジェクト方式であることによる違和感を感じることなく、全体として他の委員会と共に協力伝道の一環であり、その中で特に2024年度活動テーマとして挙げさせていただいた企画を推進したいと考えました。従って、働きを終えるというよりも形を変えてTBA協力伝道センターの働きは続けられます。
2. 活動内容の絞り込みという意味で整理したいと考えています。昨年度総会でTBA協力伝道センターは、広報、教会訪問・伝道隊、祈りと懇談の夕べ、オンライン特伝/講演会、事務局の五つのサブプロジェクトを計画しましたが、報告させていただきましたように、内容が重すぎ、オンライン特伝/講演会については実施することができず、また、教会訪問・伝道隊と事務局活動についても満足できる程度に実施することができませんでした。その点を反省の上整理し、確実に行えるという意味で発展的に企画を絞って実施したいと考えます。
3. 予算書の委員会基本費の伝道委員会5万円と活動予備費190,000円の中から充当していくこととなります。具体的に想定される支出は、「祈りと懇談の夕べ」のZoom利用料、教会・訪問活動の交通費、特伝/講演会の講師謝礼と会場費です。Zoomの使用につきましては、伝道委員会単独で使うのではなく役員会等の活動を含めて使う者ものであり、交通費、講師謝礼・交通費につきましても一般会計で支出すれば足りる規模ですので予算申請は不要と考えました。

【質問8】東京北教会 全国支援・地域協働プロジェクト 関連 p.25～

「2026年度を最終年度とする地域協働プロジェクト」とあります。ということは、2024年度からの「3年間」は、連盟のプロジェクト終了後の姿を思い描いて、その着地点に向けてしっかりと着地させていく、とても大切な時期と理解します。

そこで、東京北教会において、現時点で思い描き、話し合っておられることを教えていただけますか？

1. 連盟のプロジェクト終了後の姿

2. その後の東京地方連合諸教会との協働のあり方
3. この「3年間」でどのようなことを具体的目標にしていかれるのか

【回答8】

1. 私たちも連盟全国支援地域協働プロジェクトが終了後の姿を思い描いていかなければいけないということを認識しており、今年度の連盟へ支援申請を決議する1月の総会においても同様の質問と意見がありました。しかし、新会堂での活動が22年2月末からスタートし、22年は地域のリサーチを主に行い、23年度から異文化交流プログラムの他、具体的な活動が始まったばかりであるため（その中で外国にルーツのある方々との交わりが与えられて始めています）、今年度からさらに活動を広げて行く中で、連盟の全国支援地域協働プロジェクト終了後の姿を考えていきたいと考えています。

今年度は、昨年度から行っている絵本ひろば、歌を歌う会の他、マレーシア人宣教師、韓国人宣教師による語学教室が始まっています。また、IJCSとのパートナーシップ伝道、中国語教室、読書会などの活動を計画しています。多文化の学びの一つとして、「手話とろう文化を学ぶ会」も開催していきたいと考えています。その他、生活クラブ生協の集まり、不登校の子どもやご家族を支援する活動のために会堂を提供していきます。今、漠然とあるのは、将来的に地域に向けた活動は、地域の方々と一緒に（協働して）行っていくことです。

2. 私たちは協働教会、賛同教会との合同礼拝をたびたび行ってきました。交わりの機会が与えられた喜びだけでなく、礼拝のプログラムや主の晩餐の違いなどから、学ぶ機会も与えられています。全国支援地域協働プロジェクトの終了後も、東京地方連合の諸教会と一緒に活動することで、知り合い、学び合い、覚え合い、祈り合い、支え合っていく関係を作っていきたいと考えています。
3. 具体的ではないかもしれませんが、多種多様な人々の居場所となる教会を目指しています。教勢的な目標はありませんが、多種多様な方々と共に礼拝をささげていくことができればと思います。

定期総会資料の正誤表

| 頁 | 場所 | 誤 | 正 |
|----|---------------------|--------------------|-------------------|
| 10 | 下から 4 行目 | 東京地方連合総会 | 東京地方連合定期総会 |
| 14 | 下から 5 行目 | 神学校月間 | 神学校週間 |
| 15 | 上から 2 行目 | 加盟教会 | 加入教会 |
| | 下から 2 行目 | 無牧 | 無牧師 |
| 16 | 上から 11 行目 | 詩篇 | 詩編 |
| 17 | 上から 3 行目 | 総会以来 | 発刊以来 |
| | 上から 5 行目 | 西南学院教授 (以下同様の箇所あり) | 西南学院大学教授 |
| | 上から 8 行目 | 大 29 回 | 第 29 回 |
| | 上から 10 行目 | 準備活動開始を | 準備活動を開始し、 |
| | 上から 16 行目 | コロナ過 | コロナ渦 |
| 18 | 上から 14 行目 | 考量して | 考慮して |
| | 下から 2 行目 | 主題『私たちの | 主題『わたしたちの |
| | 下から 1 行目 | 奨学金推進委員会 | 奨学金委員会 |
| 22 | 上から 3 行目 | 「青少年の集い | 「青少年の集い」 |
| 23 | 下から 5 行目 | あなたは、わたしをおいて他に | あなたには、わたしをおいてほかに |
| 24 | 上から 3 行目 | すべてのものをご覧になった。見よ。 | すべてのものを御覧になった。見よ、 |
| | 上から 4 行目 | 東日本震災 | 東日本大震災 |
| 25 | 下から 12 行目 | 栗が沢 | 栗ヶ沢 |
| 27 | 上から 14 行目 | 分担金未納教教会 | 分担金未納教会 |
| 28 | 下から 3 行目 | 2024 年 3 月 30 日 | 2024 年 4 月 1 日 |
| 29 | 決算・予算書 支出の部 6 段目 | 壮年全国大会 | 全国壮年大会 |
| | 右表 収入の部 下段 | 当年度当年度収入合計 | 当年度収入合計 |
| | 決算・予算書 | 次ページ参照 | |
| 42 | 表 (右) | 受洗者数 | 受侵者数 |

決算・予算案

| 科目 2023 | 一般会計 | | 協力伝道会計 | |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 2023年度 | | 2023年度 | |
| | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1. 収入の部 | | | | |
| 分担金 | 2,429,000 | 2,425,500 | 0 | 0 |
| 活動支援献金 | 0 | 0 | | 202,000 |
| 席上献金・TBA協力伝道センター献金 | 0 | 0 | 1,000,000 | 1,252 |
| 前年度繰越金 (and 準備金) | 2,363,456 | 2,363,456 | 5,255,595 | 5,255,595 |
| 一般会計から協力伝道会計へ | | | 700,000 | |
| 前年度一般会計から協力伝道会計へ | | | | 700,000 |
| 積立金会計より繰り入れ | | | | |
| 雑収入及び教会宛て献金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受取利息 | | 22 | 0 | 40 |
| 当年度収入合計 ④ | 4,792,456 | 4,788,978 | 6,955,595 | 6,158,887 |
| 収入決算合計 (一般+協力④) | | | | 10,947,865 |
| 2. 支出の部 | | | | |
| 組織・組織間連携 | 1,060,000 | 1,147,659 | 80,000 | 17,010 |
| 総会運営費 (含む教会会場費1万円) | 40,000 | 85,437 | | |
| 連合の集い費(PJ) | | | 80,000 | 17,010 |
| 地方連合連絡協議会費 | 70,000 | 22,222 | | |
| (プラス 国外宣教師支援) | | | | |
| 全国壮年大会 | 150,000 | 200,000 | | |
| 神学校支援 | 800,000 | 840,000 | | |
| | | | | |
| TBA宣教センターPJ | | | 430,000 | 322,825 |
| MC主事業務委嘱SPJ | | | 300,000 | 300,000 |
| MC事務局活動費 (SPJ-1) | | | 60,000 | 9,830 |
| MC事務通信費(SPJ-2) | | | 70,000 | 12,995 |
| 協力伝道PJ | | | 530,000 | 155,201 |
| 土曜サブプロジェクト (SPJ) | | | 60,000 | 0 |
| 召命の証し集出版SPJ | 0 | | | 0 |
| 青少年ネットワーク | | | 350,000 | 155,201 |
| オンライン特伝SPJ | | | 40,000 | 0 |
| 教会訪問SPJ | | | 80,000 | 0 |
| | | | | |
| 委員会 | | | 400,000 | 419,246 |
| 壮年連合関連活動 | | | | 180,000 |
| 女性委員会関連活動 | | | | 129,061 |
| 小羊会関連活動 | | | | 98,185 |
| | | | | |
| 青少年少女委員会関連活動 | | | | 12,000 |
| その他活動 | | | | |
| | | | | |
| 連合運営費 | 250,000 | 175,449 | 0 | 0 |
| 役員会運営費 | | | | |
| 事務通信費 通信&消耗品 | | 143,308 | | |
| 事務通信費 手数料&会議費 | | 32,141 | | |
| 支出合計 ① | 1,310,000 | 1,323,108 | 1,440,000 | 914,282 |
| 会計処理 ② | 750,000 | 700,000 | 100,000 | 0 |
| 予備費 | 50,000 | 0 | 100,000 | 0 |
| 一般会計から協力伝道会計へ繰入 | 700,000 | 700,000 | | |
| 一般会計の協力伝道会計支援準備金 | | | | |
| 会計間調整 | | | | |
| 当年度支出合計 ①+②=③ | 2,060,000 | 2,023,108 | 1,540,000 | 914,282 |
| 次年度繰越金 ④-③ | 2,732,456 | 2,765,870 | 5,415,595 | 5,244,605 |
| 支出決算合計 (一般+協力③) | | | | 2,937,390 |

| 科目 2024 | 一般会計 | 協力伝道会計 |
|----------------------|-----------|------------|
| | 2024年度 | 2024年度 |
| | 予算 | 予算 |
| 1. 収入の部 | | |
| 分担金 | 2,429,000 | |
| 活動支援献金 | 0 | 300,000 |
| 席上献金・協力伝道センター献金 | 0 | 30,000 |
| 前年度繰越金 | 2,765,870 | 5,244,605 |
| 前年度一般会計から協力伝道会計へ | | 700,000 |
| | | |
| 雑収入 | 0 | 0 |
| 受取利息 | 20 | 40 |
| 当年度収入合計 | 5,194,890 | 6,274,645 |
| 収入予算合計 (一般+協力④) | | 11,469,535 |
| 2. 支出の部 | | |
| | 900,000 | 100,000 |
| 総会運営費 (含む教会会場費) | 80,000 | |
| 連合の集い (宣教会議) (11/23) | | 100,000 |
| 地方連合連絡協議会 | 20,000 | |
| 国外宣教師支援献金 | | |
| 神学生奨学金・神学校運営支援 | | |
| 東京バプテスト神学校 | 800,000 | |
| 神学校デイ献金 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 委員会基本費 | | 200,000 |
| (協力) 伝道委員会 | | 50,000 |
| 青少年委員会 | | 50,000 |
| (小羊会) | | 50,000 |
| 社会委員会 | | 50,000 |
| 教育委員会 | | 0 |
| 教会音楽委員会 | | 0 |
| | | |
| 委員会活動費 | | 510,000 |
| 東京地方壮年連合：活動 | | 180,000 |
| 女性委員会：活動 | | 140,000 |
| 小羊会・活動 | | |
| (協力) 伝道委員会・活動 | | |
| 青少年委員会・活動 | | |
| 活動予備費 | | 190,000 |
| その他活動 | 100,000 | 220,000 |
| 活動予備費 | 100,000 | 220,000 |
| 連合運営費 | 310,000 | 0 |
| 役員会運営費 | 60,000 | |
| 事務通信費 通信&消耗品 | 200,000 | |
| 事務通信費 手数料&会議費 | 50,000 | |
| 活動支出合計 | 1,310,000 | 1,030,000 |
| 会計処理 | 700,000 | 0 |
| | | |
| 一般会計から協力伝道会計へ繰入 | 700,000 | |
| | | |
| | | |
| 当年度支出合計 | 2,010,000 | 1,030,000 |
| 次年度繰越金 | 3,184,890 | 5,244,645 |
| 支出予算合計 (一般+協力③) | | 3,040,000 |

| | 2022年度 | 2023年度 |
|-------|-----------|-----------|
| 繰越金総額 | 7,619,051 | 8,010,475 |